

ガイドラインが 分かりやすく 変わりました

「墓石工事契約等ガイドライン」(以下、ガイドライン)の登録を
お願いしてから2年が経ちました。
みなさまからの声を反映させ、
より簡潔で明確なものにしました。
その内容変更に伴い
更新をお願いしています。

詳細は同封の手続き書類を
ご確認ください。

墓石工事契約等ガイドラインとは

「ガイドライン」はお墓を建てるご相談の際、わたしたち石材店と
お客さまがお互いに納得できる「最低限のルール」を定めたもの
です。お客さまと石材店の間に一定の信頼感がなければ、良
いお墓を建てることは難しいと思います。石材店が正しい事業活
動を行うことで、お客さまが安心して墓石を発注できる環境を整
備し、石材店がお客さまに信頼していただくために定めたのがこ
の「ガイドライン」です。2021年11月の登録
開始から多くの会員のみなさまに順守登
録をいただいております。現在、この「ガイ
ドライン」を順守登録している会員は石産
協ホームページの加盟店検索に掲載され
ています。




墓石工事契約等 ガイドライン

お客さまに選んでもらう仕組み

お墓を建てたいと思う人の石材店選びで、石産協のホーム
ページを検索することが当たり前になれば、**最低限のルールを守る石
材店**かどうかをお客さま自身で判断していただくことができる、
という仕組みです。石産協に問い合わせのある消費者には、ホ
ムページをご案内しています。今後も「選んでいただく」ための
グッズなどを作成していこうと思っています。

すべての登録事業者に 更新していただく必要があります

今回の内容変更に伴い、既に登録されている事業者の方は更新
手続きをしていただく必要があります。別紙の内容をご確認の
うえ、2024年4月末日までに更新手続きを必ず済ませてくださ
い。もちろん、新規登録も受け付けております。

◎更新手続き期間：2023年11月1日～2024年4月末日

新しく 変わった 部分

- ① ガイドライン本文が読みやすくなりました。
- ② アンケート項目が30項目から24項目に変更されました。
- ③ 外部に業務委託する場合の責任問題を新たに加えました。
- ④ 「価格表」「パンフレット」といった表現を見直しました。
- ⑤ “「ガイドライン運営委員会」「全国お墓相談室」からの指導、
勧告を守る”という項目を必須としました。



社内の
みなさまで
閲覧して
ください

2023年
11月15日発行
〈隔月15日発行〉

LINE公式
アカウント
お友だち
1000
プロジェクト
LINE限定の協会
情報発信中。急
げ！「友だち登録」



石産協通信は
Webでも
閲覧できます。
石産協HP
(会員ページ)

ログインID:
groupjapan
パスワード:



『秋分の日はお墓参りの日』を消費者は知っているのか？

今年の「秋分の日はお墓参りの日」ポスター、どこに貼りましたか？ 2013年から始まった活動結果を今年も検証。昨年に引き続き、消費者のお墓参り行動に関するアンケートを実施しました。

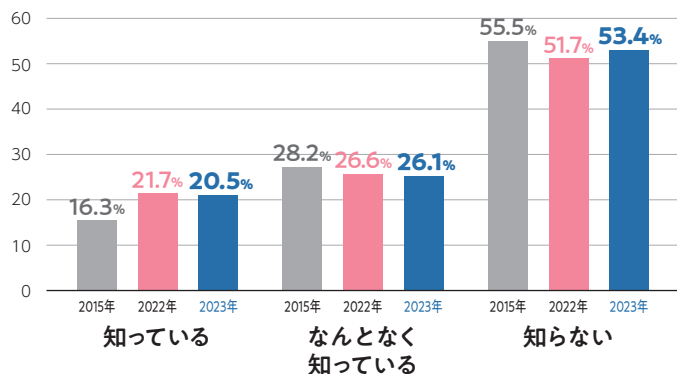


〈アンケート方法〉

全国の30歳以上男女／サンプル数800件／設問数6問 実施期間：2023年10月 ＊2015年、2022年の調査と同数、同設問

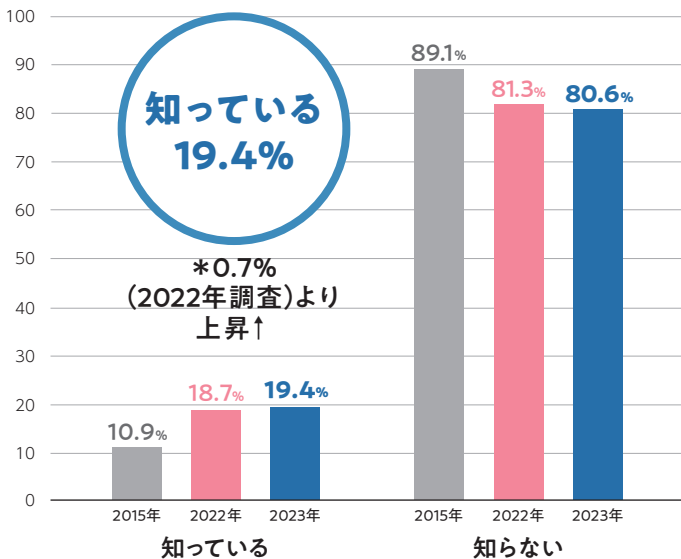
Q.1

国民の祝日に関する法律(昭和23年制定)によると“秋分の日”は、「先祖をうやまい、亡くなった人をしのぶ日」として祝日に制定されました。この事を知っていましたか？



Q.2

(一社)日本石材産業協会では、これを受けて2013年に秋分の日を「お墓参りの日」として制定しました。この事を知っていますか？



Q.3

今年の9月23日(秋分の日)にお墓参りに行きましたか？

	2015年	2022年	2023年
行った	27.5%	12.9%	17.6%
行かない	42.1%	70.5%	66.8%

Q.4

お墓参りに行くのは、いつの時期が多いですか？ 下記の選択肢からいくつでもお答えください。

	2015年	2022年	2023年
年末年始	18.9%	21.3%	17.4%
春の彼岸	33.4%	27.2%	25.4%
お盆	58.1%	47.9%	48.2%
秋の彼岸	33.1%	25.0%	24.0%
故人の命日	6.5%	9.3%	17.3%
まとまった休みの時期など	66.8%	56.4%	7.4%
故人や家族の誕生日	1.7%	3.5%	3.9%
特に決まっていない	16.4%	20.7%	21.8%
行かない	11.8%	13.3%	13.2%
その他	2.3%	2.3%	2.6%

Q.5

3年前に比べてお墓参りに行く頻度はどうですか？ 下記の選択肢から1つだけお答えください。

	2015年	2022年	2023年
増えている	10.6%	8.0%	12.5%
減っている	22.6%	36.5%	29.6%
変わらない	66.8%	56.4%	58.5%

Q.6

お墓参りに対するお考えをお聞かせください。 下記の選択肢より1つだけお答えください。

	2015年	2022年	2023年
お墓参りは大切な事だし、実際に機会があれば何よりも優先して行く。	28.9%	24.0%	23.8%
お墓参りは大切な事だと思うが、仕事やプライベートな用事を優先してしまう。	53.0%	55.0%	52.2%
お墓参りは意味の無いことだ。	3.8%	5.6%	5.2%
あてはまるものがない。	14.2%	15.4%	18.2%

アンケート結果を踏まえて

消費者のお墓参り行動意識の活性化を目的にこの活動を始めましたが、当会が秋分の日を「お墓参りの日」として制定申請したことの消費者認知は今回微増でした。また、コロナ禍が癒えたことでお墓参りに行く消費者は増えましたが、秋の彼岸でのお墓参りはお盆と比較するとまだまだ不足しています。会員によるポスター貼付やSNS発信による活動の成果反映は、残念ながら至っていないと感じました。お墓参りを大切な事だと感じる消費者は多くいます。この母体をお墓参りに導くために、今後も継続したPR活動をしていきたいと考えます。[広報担当 吉野 博]



ふじしま あきひろ
藤島章弘さん
静岡県支部長／(有)興国石材



まつもと おさむ
松本修さん
熊本県支部長／
(有)森下石材店

祈りのところで
勤め、愛される
石屋を目指す

わたしの夢

my Dream

この想いを夢のバトンに託して、
出来るだけ多くの人に手渡したい。

地震に強い お墓の施工にこだわる

石屋になるのが決まったのは、今から40年前の中2の夏です。高校卒業後、岡崎で4年間の修業時代があります。おかげで全国に仲間ができました。悪趣味かもしれませんが、個人的に墓石地震被害調査をしています。阪神淡路大震災のときから、震度6以上が起きてしまった地域に出向き、被災された墓石を見ると、どんな施工が弱いのか、自分の施工と類似している点はないのか、など色々勉強させていただいております。地震被害調査を経て、弊社では基本、新規建墓は基礎工事以外の完全ボンド施工をしています。支部長としては頼りないかと思いますが、会に参加してくれる方にプラスになるような活動をしていきたいです。



私の地元
これが
おススメ!

「洋食 千楽」
藤井8冠も
食べました



私の地元
これが
おススメ!

「ジンベイ(宇土市)」
熊本県各地で
ONE PIECEの
銅像巡り



奈良県支部の活動

なら燈花会 「石あかりの小径」

2023年8月5日(土)～14日(月)
奈良公園 浮雲園地内

毎年奈良公園一帯で開催される、夏の風物詩となった「なら燈花会」。25周年を迎える大イベントで期間中90万人の来場がありました。奈良県支部では、今年も支部会員とともに石あかりを合計30点展示し、石産協と石文化の向上をアピールしました。



Youtubeはこちら↑

新潟県支部の活動

新潟市総合防災訓練に参加

2023年10月29日(日) 新潟市産業振興センター

45団体から約250人が参加し、震度7を観測される地震が発生した想定で建物倒壊や火災の中、各団体がそれぞれの持ち場で救出・消火・撤去の訓練が行われました。多くの一般市民の見学もあり、当支部会員は、道路に倒壊した石材を実際に重機を操作し撤去しました。新潟市との災害協定を締結したことで参加しましたが、万一の事態に備えた大規模な訓練は大変有意義で、改めて備えることの大切さを実感しました。[新潟県支部長 林 敏雄]



南関東・北関東・信越地区全体会議

2023年10月6日(金) ホテルニューウェルシティ湯河原
参加者68名／エクスカーション27名

採石・原石部会、加工部会、輸入卸商部会から国内採石地と石材加工と流通の現状が発表され、墓石小売店で全国展開する(株)はせがわ 榎本氏より、市場での活用価値や今後の動向などをお話いただきました。翌日は、本小松石採石場を見学し、現場の声をより強く理解する貴重な時間となりました。



一級に合格して。資格の活かし方



愛知県の石材店で働いているわたしは、この業界で働き始めて7年になります。わたしが1級の資格を取った理由は、単純に知識を増やしたいというシンプルな動機でした。皆さんご存じのようにこの業界は外から見るよりも奥が深く、その知識を増やすためには資格取得が一つの道でした。この資格の活かし方ですが、実はまだよく分かっていません。日常の接客の際に自分が資格を持っていることをお話したことはないですし、そもそもお客さまがお墓ディレクターのことを知らないからです。しかし、面白いことにこの資格を取得してから、お客さまとのコミュニケーションが変わった気がします。「よく勉強していることが分かって感心した。安心して任せられました。」といった感謝の言葉をいただくことが増えました。わたしの中で大きく変わったのは、お客さまとの会話の中で学んだ知識を、ちょっとした補足や小ネタとして取り入れるようになったことです。これが予想以上にお客さまに安心感を与えているようで、そのことを実感するたびに、この資格を取得して本当によかったと感じています。[お墓ディレクター委員会 石丸友輔]



第15回石材加工講習会

2023年10月18日(水) 愛知県岡崎市

石材加工の技術向上と情報交換などを目的に、毎年のように開催している加工講習会を今年は愛知県で開催しました。参加者には全く石を削ったことのない方もいましたが、全員なんとかお地蔵様の顔を仕上げることができました。その晩には懇親会も開かれ、和やかな雰囲気の中で充実した1日を終えることができました。

参加者の声

- 久々に手作業をしてモノをつくるのができて楽しかった。
- 加工経験があまりないので体験できてよかったです。
- 他県の人と交流できたことが大変うれしく思います。



国産銘石カタログ デジタルデータ版 販売開始



販売中の国産銘石カタログのデジタルデータ版が完成しました。円安等により、外国産石材が高騰し、国産石材との価格差がいよいよなくなり、国産石材が見直されています。日本の石の魅力を消費者にアピールする販売ツールとしてどんどん活用してください。セプトでの注文は特別価格を用意しています。

北陸・東海地区全体会議開催

2024年2月9日(金) 愛知県名古屋

当地区では初めての地区全体会議です。開催に向けてもワクワクしています。地区支部の活性化、会員の学びの場として、多くの方に参加いただきたいです。(リーフレット同封) [北陸・東海地区長 吉田秀徳]



事業案内

2023年11月～
2024年1月

ホームページにカレンダーが掲載されています。日程の変更は随時お知らせします。

- ▶ 11月16日(木)・仙台・東京・大阪
第19回お墓ディレクター検定試験
- ▶ 11月17日(金)・石産協事務局
お墓ディレクター委員会
- ▶ 11月17日(金)・Zoom
加工部会
- ▶ 11月20日(月)・Zoom
ホームページ検討会議
- ▶ 11月21日(火)・東京(日比谷)
第2回会員拡大委員会(リブランディング事業)
- ▶ 11月22日(水)・石産協事務局
お墓ディレクター特別会議
- ▶ 11月22日(水)・東京(神田)
第5回正副会長会議
- ▶ 11月30日(木)・大阪府大阪市
建築・環境部会
- ▶ 12月8日(金)・石産協事務局
お墓ディレクター委員会
- ▶ 12月12日(火)・東京(神田)
輸入卸商部会
- ▶ 12月13日(水)・東京(池袋)
全国支部長連絡会議
- ▶ 12月14日(木)・東京(赤坂)
災害対策特別委員会
- ▶ 12月14日(木)・石産協事務局
お墓ディレクター特別委員会
- ▶ 12月14日(木)・東京(神田)
第4回理事会
- 12/29(金)～1/4(木)
石産協事務局:冬期休暇

後援

いばらきストーンフェスティバル
(11/3～5) 茨城県笠間市

石屋ならではの
LINEスタンプ

他にも「使える」
LINEスタンプが
計40種

役員候補者管理委員会より

2024年度役員改選にあたり、会長候補者を募集したところ、森田浩介氏の立候補があり、第3回理事会において次年度会長予定者として承認されました。部会、委員会、地区長、支部長も改選となりますので所属の支部総会や部会にご参加いただき、候補者を決定してください。

★プレゼント!★

以前販売していた「お墓ディレクター資格取得者限定のぼり(旧バージョン)」と「お墓と終活セミナーキット」を先着にて無料で差し上げます(数量限定、送料は着払い)。のぼりは店頭用の大きいサイズと卓上用がありますので、ご希望の方は事務局までお申し出ください。無くなり次第終了となります。[事務局]

新入会員紹介 会員数:1,123名(2023.10.12現在)

東京都	東京都	新潟県	岐阜県
東神貿易(株) 会員代表: 樋口大祐 業種: 輸入	トモエ・ガラス 会員代表: 伊藤トモエ 業種: 関連	(株)ご縁 会員代表: 樋口毅幸 業種: 墓石	石佐佐藤石材(有) 会員代表: 佐藤裕基 業種: 墓石

地元やお取引先の石材店をご紹介します。全国組織のネットワークを通じ、石材業界を盛り上げていきましょう。

石を愛するコミュニティ



一般社団法人
日本石材産業協会
The Japan Stone Industry Association
東京都千代田区神田多町2-9 日計ビル2階
Tel: 03-3251-7671 Fax: 03-3251-7681
https://www.japan-stone.org/
企画・編集・発行: 石産協事務局

編集 収穫の秋、今年は何が実ったか
後記 な? [今号の一枚より]